

OIKE CLINIC REPORT



御池クリニック Vol. 28
人間ドック・PET 画像診断センター 2015. 10

CONTENTS

- P1 ロコモティブシンドローム
御池クリニック 内科医 藤永 有理子
- P2・3 各症例・疾患における推奨検査一覧
放射線技術課 松延 友和
- P4 患者様にお伝え下さい

COLUMN



ロコモティブ シンドローム

医療法人 知音会
御池クリニック

内科医 藤永 有理子

十数年前から「メタボ（メタボリックシンドローム）」という言葉がメディアを席巻していましたが、最近は「ロコモ」という言葉を盛んに見聞きするようになりました。ロコモとは、ロコモティブシンドロームの略称で、運動器の障害によって移動機能の低下をきたした状態を言います。2007年に日本整形外科学会が提唱した概念です。進行すると日常生活に支障をきたし介護が必要になるリスクが高くなるといわれています。

先日、人間ドック学会主催の研修会で、ロコモについてのより具体的な評価法と機能向上の対処法の講義があり、勉強してきました。2015年5月に日本整形外科学会がロコモ度を判定する臨床基準値を公表しました。ロコモ度は下肢筋力と歩幅、身体状態・生活状況で判定します。テストはいたって簡単で、①両腕を組んだ状態で、

片足または両足で決まった高さの椅子から立ち上がる『立ち上がりテスト』と、②最大2歩幅を測定し、身長で割った値を計算する『2ステップテスト』です。前者で運動機能障害の進行度がわかり、後者は最大歩行速度と正の相関を示す客観的な指標となります。どちらの方法も簡便で、年齢や性別にかかわらず測定可能です。講義でも「実際にやってみましょう」といわれ、大きな会場で聴講者が一斉に両腕を組んで片足立ちをする様子は圧巻で面白かったです。また講義では簡便ですぐ始められることを具体的に勧めていくことの重要性も痛感しました。私は外来で足腰が弱ったと嘆く高齢の患者さんに「できるだけ散歩に出かけてくださいね」と声掛けをしてきましたが、実際にはなかなか難しかったかもしれません。講義では机に片手あるいは両手をついての開眼片足立ちやスクワット（難しい場合は机に両手をついて椅子に腰かける）といった自宅でも行えるトレーニング（ロコトレ）の紹介もありました。ただ急激な運動開始や無理な荷重は要注意です。

私は2年前に足の指を骨折して以来、食事と運動には特に気をつけています。散歩の時は両手を大きく振り大股で歩くので、一緒に歩く家族はとても嫌がりますが、いつまでも自分の足で歩けるように、これからも大手を振って大股で歩いてロコモ予防に励もうと思っています。



各症例・疾患における推奨検査一覧

放射線技術課 松延 友和

当クリニックにおいて推奨される検査を各部位（主な疾患）毎にまとめています。検査の依頼をいただく際にご活用下さい。
PET 検査や特殊検査の紹介は当クリニックホームページにも掲載していますのでご覧下さい。
また、ご依頼についてお困りの際は、お電話（075-823-3000）、FAX(075-823-3201)、または E メール (support@oike-clinic.jp) でお知らせ下さい。

あれ、肺のう胞かな・・・?!



精密検査を依頼するなら・・・

単純MRCP?

造影CT?



症例・疾患	MRI	CT	US	RI	詳細
頭 部	スクリーニングとして、MRI + MRA 検査を推奨します。 MRI の検査時間は約 20 分ですので、静止困難な場合や、MRI 禁忌の場合は単純 CT を推奨します。				
スクリーニング	◎				MRI + MRA で検査をご依頼下さい。
出血	○	◎			急性期の出血の識別は、CTが優れています。
梗塞	◎	○			梗塞の早期発見は MRI が優れています。
転移検索	◎ (造影)	○ (造影)			造影 MRI が有用です。
下垂体腫瘍	◎				DynamicMRI が有用です。
認知症	◎	△		◎脳血流シンチ	RI：脳の血流状態を見ることが可能、静止困難な場合は CT または MRI をご依頼下さい。
外傷	○	○			骨折の有無は CT が有用だが、脳実質の損傷に関しては MRI が有用です。
脳血管の描出スクリーニング	◎	×			※MRA は造影剤を使用せずに血管描出が可能で MRI と同時に実施可能です。
脳動脈瘤の血管精査	○	◎ (造影)			MRA 後の精査としては頭部 CTA (造影) を推奨します。
脳動脈瘤の経過観察	◎				
パーキンソン病	○			○心筋MIBGシンチ ○DATスキャン	MRI ではパーキンソン症候群を呈する、他の疾患を診断する事が可能な場合があります。
副鼻腔	スクリーニングとしては CT 推奨。進展範囲等見る場合は MRI。				
副鼻腔炎・腫瘍	○	◎			骨の情報が必要な場合は CT で。腫瘍の精査には造影が有用です。
頸 部	スクリーニングとしては US を推奨。CT では造影が必要です。				
スクリーニング	○	○	◎		
リンパ節	◎	○ (造影)	○		MRI は CT より筋肉、腫瘍、リンパ節の区別が容易で有用性高い。
喉頭、咽頭	◎	○ (造影)			
甲状腺	○	○ (造影)	◎	○ (タリウム・テクネ)	形態診断に超音波、機能検査に RI が有効です。
頸部動脈	○	○ (CTA)	◎		精査を目的とする場合、造影剤を使用した造影 CTA が有用です。
唾液腺	○	○	○	○唾液腺シンチ	腫瘍には MRI が有用。唾石には CT が有用です。
副甲状腺	○	○ (造影)	○	○副甲状腺シンチ	副甲状腺機能亢進症の鑑別。
胸 部	胸部スクリーニングは胸部単純撮影もしくは単純 CT を推奨します。				
胸部(スクリーニング)	×	◎			
肺癌・肺炎	×	◎			
肺気腫	×	◎			
肺塞栓		◎ (造影)		○肺血流シンチ	造影 CT では血栓そのものの描出が可能。肺血流シンチが正常であれば病気を否定できる。
縦隔腫瘍	○	○			
胸部大動脈の描出	○	◎ (造影)			大動脈の輪郭は単純 CT で評価可能。内腔の精査を目的とした場合、造影剤を使用した造影 CT が有用です。
乳腺(スクリーニング)			◎		スクリーニングにはマンモグラフィーまたは超音波検査をお勧めします。
乳がんの精査	◎				乳腺ダイナミック MRI が有用です。
肋骨		◎			

症例・疾患	MRI	CT	US	RI	詳細
心 臓	冠動脈の描出は造影 CT アンギオ推奨 (石灰化が強い場合は評価困難なので血管造影を推奨)				
スクリーニング			◎		
心内腔、心筋の抽出			○		
冠動脈		◎ (造影)			※造影が必須の撮影になります。
肝・胆・膵・腎	MRI 検査においては約 20 秒の息どめが必要です。(ご高齢の方で息が止めれない場合は CT 検査をご依頼下さい。)				
スクリーニング		○	◎		
肝臓	◎	○	○		単純 MRI では嚢胞あるいは血管腫の診断は可能だが、他の腫瘍との診断には造影が必要になります。
胆のう	○	○	◎		CT や MRI は小さなポリープの評価には適していないが、腫瘍の広がりを見るには、造影 CT や MRI が有用です。
胆管・膵管	◎ (MRCP)		○		US の精査としては MRCP が有用です。(MRCP は単純で検査可能です。)
膵臓腫瘍	◎ (造影)	○ (造影)	○		嚢胞性病変の描出には MRI が有用です。
副腎腫瘍	◎	○		○ (アドステロール・MIBG)	
腎腫瘍	○	○ (造影)			
腎結石	×	○	○		MRI では結石を描出するのは困難です。
閉塞性疾患・腎血管性高血圧・糸球体腎炎				◎ (レノグラム)	
腹部大動脈	○	◎ (造影)			大動脈の輪郭は単純 CT で評価可能。内腔の精査を目的とした場合、造影剤を使用した造影 CT が有用です。
消化管	消化管腔では内視鏡検査推奨。2012 年より大腸 CT も保険適応となりました。				
食道・胃	△	○			
大腸		◎ (CTC)			
骨 盤	スクリーニングは US もしくは MRI を推奨します。				
スクリーニング	◎		◎		
子宮	◎		○		
卵巣腫瘍	◎	○	○		
尿路	○	◎			ウログラフィー (MRI：単純、CT：造影) をご依頼下さい。
前立腺疾患	○		○		
膀胱癌	○	○	○		
骨・関節	関節精査は MRI が有用。骨折や微少な骨片の情報は CT 検査が有用です。				
骨折	◎	◎		△骨シンチ	MRI は骨挫傷も評価できるが、CT では 3D 処理が可能です。
靱帯・軟骨・半月板	◎				関節内の病変は MRI が有用です。
骨腫瘍	○	◎			
軟部腫瘍	◎				
脊椎・脊髄	MRI 検査が有用です。				
変性疾患・脊柱管狭窄症	◎	○			
分離症	○	◎			MRI では浮腫を描出できます。
圧迫骨折	◎	○			MRI では新旧の区別が可能です。
骨転移	○	○		◎骨シンチ	
血 管	頭部、頸部は単純 MRA で十分 (頭部 MRA を造影で行う事はない) です。腹部の大血管、下肢動脈 (ASO 精査) は単純 MRA で検査可能だが、描出不可の方も数%ある。より確実に行うなら造影 MRA、造影 CT を推奨します。造影 MRA と造影 CTA の違い：造影 MRA は骨が写らないので、血管の走行自体は見やすい。造影 CTA は石灰化の情報を含めたい場合や臓器との位置関係などを調べる場合に有用です。よって手術前の血管確認は造影 CTA、ステントやフィルタがある場合や MRI が禁忌な場合も造影 CTA を推奨します。				
腹腔動脈・門脈		◎ (造影)			
腎動脈	○ (単・造)	◎ (造影)			
下肢動脈	◎ (単・造)	○ (造影)			

患者様にお伝え下さい

来所時間のご案内

検査前に問診・更衣をして頂きますので以下の来所時間を患者様にお伝え下さい。

検査	来所時間
MRI・CT検査(単純)	検査開始時刻の15分前
MRI・CT検査(造影)	検査開始時刻の30分前
PET検査	注射時刻の30分前

造影検査では来所されてから問診・体重測定をして造影剤を決定します。

検査開始時刻の30分前来所をお願いします。



検査前の蓄尿についてのお願い

骨盤内検査(婦人科MRI・前立腺MRI・下腹部CTなど)をご依頼頂く際は、患者様へ蓄尿の指示をお願いします。

MRI検査では検査時間が30分程度要する場合もございますので、患者様の状態に合わせた時間の指示をお願いします。



これからの季節に・・・

寒くなると機能性下着(ヒートテックなど)を着用されている方が増えてきます。MRI検査ではRFパルスを使用するため、体温が上昇し発汗量も増えます。機能性下着を着用したまま検査を行うと、火傷等の可能性もありますので必ず更衣をして頂きます。あらかじめご了承ください。

診療カレンダー

※日曜診療(画像検査)は日程が変更になる場合がございます。

2015年10月							2015年11月							2015年12月							2016年1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5						1	2
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
25	26	27	28	29	30	31	29	30						27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30

■ 日曜診療(画像検査: MRI・PET)

■ 日曜診療(ドック・画像検査: MRI)

■ 土曜 PET 診療日

■ 休診

インターネット検査予約

当クリニックへ検査をご依頼頂いている先生方へ

インターネットにて24時間検査予約ができます。

インターネットにて当クリニックの高度医療機器(MRI、CT、PET)の空き状況を確認しながら検査をご予約して頂けるシステムです。ご予約は <http://www.oike-clinic.jp/> にアクセスして頂き、**インターネット検査予約**をクリックして下さい。

初めてご利用頂く場合は、インターネット検査予約のログイン画面にある、**申込書をダウンロード**し、必要事項をご記入の上 FAX: 075-823-3200 までご送付下さい。

編集後記

先日 iPhone を紛失しました。本体にロックをかけて、GPS 機能を用いての捜索、データのバックアップ確認等々。やるべき事がいっぱい。操作方法を調べながらの作業はなかなか捗らず、できると思っていたことができなくて、焦りと落胆で疲労困憊。紛失を想定してのシュミレーション、一度やってみることをおすすめします。バージョンアップが不可欠だったり、認証が必要だったり、思わぬ落とし穴が見つかります。備えあれば憂いなし。(N.Y.)

